

01. オンライン英会話のための英文法とは何か

私は、このコーナーではことごとく英文法を無視した会話のしかたをお伝えしたいと思っています。それは、英文法が英会話に必要なということではありません。本当は英会話に英文法は大変役立つ知識です。きちんと英文法を頭に入れている人の英会話力は伸びます。事実、基礎となる英文法を頭の中に入れている人といない人とは、英会話力の成長が違います。英文法をきちんと頭に入れていないとどこかで成長がストップします。

そういう意味では、長期的には英文法をどこかで一度整理して勉強し直すことは必須です。

しかし、一方、受験勉強で一流大学に合格した人、つまり英文法をきちんと勉強したからといって英会話ができるでしょうか？

私たちは、少なくとも中学、高校と何となくではありながらも英語に触れ、英文法にも触れてきました。しかし、きちんとした基礎固めをしていなかったり、忘れていたりしている人も多いのが現実です。

じゃあ、英会話のCDや通信教育で基礎を固めてから、オンライン英会話をするなんていうのなら、結局、何も始まらないのです。

ほとんどの日本の人が堂々巡りをしているのはこのような構図なのです。

まず、あなたは、突然、外国の人と話さなければならない環境に身を置いてみてください。一日25分でも50分でも、多ければ多いほどいいです。

それが正しいスタートだと思います。その次にカタコトで何とか話して、とにかくなんとか今自分の持っている英語力でコミュニケーションしてみてください、オンライン英会話の先生はその時々にあなたの英文法を直してくれるでしょう。そして、ある時、「英文法の復習でもするかな」と思い立ち中学や高校の英文法の参考書を見直すというのが進歩する手順だと思います。

私自身、高校二年生の頃はこの大学にもいけないような偏差値でしたが、あることをきっかけに中学の英文法の参考書を徹底的にやり直したことがあり、そのおかげで大学受験時には偏差値が70以上になりました。英文法の大切さを十分身にしまっている私ですが、今回はその英文法を思いっきり使わないで会話するお話をするつもりです。

そこで、今回の私の役割は英文法を知らない状態で、とにかく相手と意思疎通するコツをお伝えすることです。

今回は、思いっきり文法を無視し、否定します。

まずは、それでも通じることを知ってもらいたいのです。

「ワタシ コレ エイゴ ハナス ムツカシ アルヨ」って感じでいいじゃないかと言うことです。受験勉強ではこれでは困りますけどね。いずれ英文法を復習すれば「これって、英語で言えばどう表現するのですかねえ〜？」とか言えるようになるわけです。

02. オンライン英会話のための英文法レスのコツ1

「長い英語は短い文章に分けろ」です。

よく見かけるのが、受験英語で習ったように、一気に一文で話したり、書いたりすることです。そうするとどうしても時制の一致(最初が過去形だったら、その中の文章も過去形にするようなこと)も考えなければならないですし、節が多くなると動詞もいっぱい入ってきます。そうすると、聞いたことがあるとは思いますが、不定詞や動名詞といったことが複雑に絡んでいきますし、文型もSV, SVC, SVO, SVOOくらいはまあ、仕方ないですが、SVOCも使うとなると面倒になってきます。

なので、文章は細切れにして話してください。そうすれば、文法は難しいものを使う必要はありません。

ここでは文型のSVOOについてだけ話しておきましょう。

I send you mail.

S V 間接目的 O 直接目的 O

です。「あなたにメールを送る」という意味ですね。これをまじめに考えると動詞によって上のように書けず(書いても通じますが)前置詞 to とかを入れないといけないとなります。

そこで、文法を知らない人は

S V 直接目的 O 前置詞(to とか) 間接目的 O

つまり

I send mail to you.

という直接目的語をまずすぐに持って来るパターンを使うようにしましょう。

このとき前置詞が to for at on in とかいろいろありますが、だいたい使えそうなもので話せば通じます(まじめに最適な前置詞を使うのは難しいですね、もともと)

でも、気にしないことです。上の to が for でも通じます、万 one と使っても通じます。どんどん気にしないで短い文で話しましょう、書きましょう。

03. オンライン英会話のための英文法レスのコツ2

文法レスですが、その説明には文法の用語が必要なので、ここで書いておきますね。先ほどのS、V、O、Cは主語、動詞、目的語、補語と呼びます。あとは単語には品詞という分類がありますのでそれだけ言っておきますね、別に英語でなくても日本語でも同じなので、説明するのもなんですが…

名詞: pen、U.S.A とか water とか

代名詞: you、it、this とか

動詞: これはbe動詞=am、is、are

その他の動詞(一般動詞)=go、look とか

に分かれますね。

ここはちょっとややこしいですね。

助動詞: can、will、must です

形容詞: new、many、good とか

副詞: well、today、very、here

前置詞: on、with、by、from

接続詞: and、but、when、that

冠詞: a、an、the

といったところでしょうか。

これらのそれぞれについて入試レベルの英文法では細かい規則を憶えるわけです。

それらを今からほとんど無視して、文法レス英会話のコツを書いていきます。

いつまでも、CDや英会話の参考書だけにこもっていても期待薄です。

やるなら実際の人との実英会話とCDやテキストを使った勉強の両方が必要です。

ただ、ここで先ほど言ったことと矛盾することを言いますね。

文章を短く切れと言いましたが、この接続詞の that は憶えておいた方がいいと思います。なじみがあるものだと思います。

I think that you are beautiful.

あなたは美人だと私は思います。という意味ですね。

この「私は思うんだけど that以下のことを」というのはよく使います。

もちろん短く切って

I think.

You are beautiful.

でも伝わることは伝わりますけどね。すこし、たどたどしいですね。

04. オンライン英会話のための英文法レスのコツ3

まず、時制の話。なんじゃ時制とは？

現在、過去、未来、現在完了、過去完了とか聞いたことあるよね。

まあ、過去完了とか現在完了はややこしい人は無視。過去形一筋で行ってください。

もっと言えば全部現在形でもよし。その代わりに、いつのことかがわかる副詞をつけること。

Yesterday とか Today とか3years ago とかね。

ワタシ サカナ タベル キノウ っては聞こえるけどね。格好付けなきゃいいのよね。

相手だって、英語が話せないことわかってるから。

未来形は will 一本でOK。shall とかと区別すると面倒になるよ。

さて、名詞の複数形の変形はことごとく無視してOK

また、複数形を使わんでもいいよ。

Many book でもわかるのよ。

複数形をつけるときでも、名詞の最後にsかesをつければOK。どっちでもよさげなのでOK。

動詞の原形と三人称単数への変形も無視！

三人称単数ちゅうのは、he she this とかですね。

一般動詞は go は goes とかにするって習いましたよね。

でも、無視。

He go to school.

でも伝わりますよね。

もし、ちょっと三人称の動詞っぽくしたければ、s か es をつけてみよう。

05. オンライン英会話のための英文法レスのコツ4

さて、動詞のing型です。

まあ、忘れてくれていいですが、分詞とか動名詞とか進行形とかで使いますね。

これにもいろいろ動詞によって少々パターンがあるのですが、動詞に単に ing をつけてOK。

make だと making になったりとか、get だと getting になったり、lie だと lying になるんだけど、無視！全部 ing で通じます。

次は比較級、最上級

これもパターンがあるんだよね。

large larger largest

は まあ、普通のパターン

easy easier easiest

とか

big bigger biggest

あるいは、

good better best

ほらね。ややこしいですよ。

でも、

おすすめはどんな形容詞にも more と most をつけてしまおう。

more good うんうん これもアリ。

動詞の過去形、過去分詞型ももう、想像つくでしょ。

パターンがいろいろあるので一々ここでは書きませんが、もちろん文法無派としては後ろに ed をつけてみよう。

そういう細かいことを学校では習ってきたんだよね。でも、そんなのは細かいこと、その細かいことにこだわって話さなくなってしまうのが、日本の教育の弊害だとももふ。

戦後の欧米に追いつけ追い越せのために海外の技術文献を読むための教育なんですよ
ね。

もっと、いいかげんになろう。

オンライン英会話スクールの中でそのあたりは先生が指摘してくれます。

06. オンライン英会話のための英文法レスのコツ5

さて、今日は疑問文と否定文の文法を無視します。

たとえば

Is this your pen? これはあなたのペンですか？

ここでは be 動詞の疑問文ですね

あるいは、

Do you like me? 私のこと好き？

これは一般動詞の疑問文ですね

これは入れ替える順番や三人称単数などをいろいろ考えなければならないです。

ここでおすすめするのは

疑問文は使わないで、最後の語調を上げるというもの(文章だと?)をつけるだけです。

This is your pen?(語調を上げる)

You like me?(語調を上げる)

でいいんです。

これはインチキっぽく見えるかもしれませんが、ネイティブでも使いますので、自信をもって言きましょう。

次は 否定文

普通は

This is not (=isn't) your pen.

You do not (=don't) like me.

ですね。

これはよくわからない場合は

動詞の周辺に not をつけてみましょう。

this is not your pen(これはそのままですけどね)

You not like me.

でも意図は通じます。

未来でも現在でも過去でも同じです。

とりあず、このあたりは細かい文法のルールを無視しても通じるので、思い切って話しましょう。

07. オンライン英会話のための英文法レスのコツ6

数えられる名詞と数えられない名詞は無視しましょう。

基本的には複数型を使わないで話して、それがたくさんあるという場合には、many とかを頭につけましょう。

many children でなくても many child でも通じるということです。

複数形にしたい場合ではいくつかのパターンがありますが、どれは無視して s か es をつけておきましょう。

ついでに話しておきますと、名詞の所有格というのがあって、

My mother's car

とか

The name of the car

とか使い分けがあります。

上の方は、生物の場合、

下の方は無生物の場合です。

しかし、これらは無視してOKです。

つまり、The car's name も通じます。

複数になると cars' names とかになりますが、これも無視して なんでも 's で行きましよう。

名詞と言えば、関係するのが代名詞(名詞にかわるもの)ですね

まことに残念ですが、このあたりは文法を無視するとなかなか通じないですね。

もちろん、このあたりはほとんどの人が忘れていないところですが...

単数

	主格	所有格	目的格
一人称	I	my	me
二人称	you	your	you
三人称	he	his	him
	she	her	her
	it	its	it

複数

	主格	所有格	目的格
一人称	we	our	us
二人称	you	your	you
三人称	they	their	them
	she	her	her

これだけは申し訳ないけど覚えておいてくださいね。

尚、実はこの一覧に抜けているものがあります。それは 所有代名詞です。

mine yours ours his theirs とかですが、

これらは、これを使わずに his book とか my photo とかで表現できるので省きました。

ついでに

this の複数 is these

that の複数 is those

ですが、上手くその場で言えなければ単数を使いましょう。

08. オンライン英会話のための英文法レスのコツ7

さて、先ほどは簡単な yes とか no で答えられる疑問文を中心にお話しましたが、もっと複雑な疑問文も疑問文文法は無視できます。

ここで複雑と言ったのは

what who whose which when where why how

とかです。

それぞれの意味は知っている必要がありますね。

でも文章にするときは肯定文でも通じます。

What did you have for lunch?

昼ご飯に何食べましたか？

でも

What you had for lunch?

でもいいわけです。

ここの have の過去形がめんどくさければ

What you have for lunch yesterday?

とか時間がわかる副詞をつければOKです

では、受け身の話しましょう。

受け身はできるだけ使わないってことです。

She was loved by them.

彼女は彼らに愛された。

っていうのは

they loved her.

でいいわけです。

なるべく受け身はさければ間違いもなくなりますね。

09. オンライン英会話のための英文法レスのコツ8

現在完了形もいろいろややこしいですね。過去完了形もね。

そこで、やはり前にもすこし触れたように、過去形で行きましょう。

現在形でもいけますけどね。

過去形は とにかく ed か d をつけましょう。

重要なことは、何時 ということを文章の中に入れることです。

昨日とか、10年前とか、ですね。

まあ、微妙な「ちょうど～したところだ」とか「過去に～したことがある」っていうことは伝えられないこともあるけど、まあ、言いたいことは伝わります。

さて、今回でオンライン英会話のための英文法レスのコツは最終回です。

ここまではことごとく文法を使わなくても通じる手抜きの話し方をお話しました。それは、文法を完全に再整理してから、英会話を始めようとする奥が深くいつまでたっても実際に話す環境に身を置かない人が多すぎるからです。

合コンの前に合コンのマニュアルをマスターしたり、ゴルフの打ちっ放しに行く前に理論を全部マスターしますか？

ところが英会話では、そうしちゃう人が多いんですね。

英語が話せるたって、レベルは様々です、オンライン英会話の先生は、会話の中で「今の言い方はこういう方がいいよ」とか「もっと礼儀正しくはこういうのよ」とか教えてくれます。

そういう実践の会話レッスンと平行して、基礎となる英文法を再整理することは英会話力を伸ばすためには必要です。

基礎ができていないと、何年もアメリカに住んでいたにもかかわらずカタコトしか話せない人を知っています。

中学の英文法の総復習か高校生向けの英文法の再整理といった参考書がおすすめです。

なお、今回、実はとっても大切な文法の2種類飛ばしています。

それはきちんと勉強した方がいいです。それを無視すると会話の幅が狭まります。

それは不定詞と分詞です。

それはサイトや参考書でそこだけは集中的に復習してください。

それ以外はここに書いた文法レスでも十分通用します。

ではでは、このシリーズはここまで。

勇気を出して、会話する環境に飛び込みましょう！